

狭山池シンポジウム2014（第5回）

○開催日

2014年11月8日

○テーマ

アジアと日本をつないだ僧—重源・栄西—

○内 容

5回目となる今回のシンポジウムでは、重源狭山池改修碑重要文化財指定記念特別展「重源と東大寺—鎌倉時代の復興を支えた人びと—」にあわせて開催し、鎌倉時代の東大寺復興に大勳進としてかかわった重源と栄西に注目し、2人のパネリストの先生方からご報告いただきました。

重源・栄西の活動を通して、中世の日本とアジアの交流について考え、日本と東アジアの国々とのつながりを改めて確認することができました。

当日は、市内外から206名の参加があり、盛況のうちに終了しました。

○パネリスト報告等

「重源・栄西の入宋—重源がコネクトした日本と南宋—」 横内裕人氏(京都府立大学文学部准教授)

「重源・栄西の建築—革新と伝統一」 富島義幸氏(京都大学大学院工学研究科准教授)

○パネルディスカッション

◇コーディネーター

原田正俊氏(関西大学文学部教授)

◇パネリスト

横内裕人氏(京都府立大学文学部准教授)

富島義幸氏(京都大学大学院工学研究科准教授)



パネルディスカッション風景